

社会学委員会社会福祉学分科会

(第25期・第9回)

議事要旨

日 時：令和5年3月26日（日）16：15～16：50

会 場：オンライン開催

出席者：和気純子 岩崎晋也 大和三重 金子光一 木原活信 竹本与志人  
原田正樹 保正友子 牧里每治 山野則子 湯澤直美 （11名）

欠席者：須田木綿子 住居広士 野口定久 岩永理恵

記 録：竹本与志人

議 題

(1) 前回議事要旨の確認

(2) 見解の査読および発出について

- ・査読の状況：現在、対応委員会にて最終査読中である。
- ・見解の印刷：学会連合で400部印刷し、関係機関へ配付する予定である。

電子版は学術会議HP上で公開する。

(3) シンポジウムの開催状況について

事前登録者512名、最大聴講者数273名であった。

(4) 今後の予定について

10月より第26期が始動予定である。牧里連携会員が任期満了となり退任予定となっている。

(5) その他

第26期の社会福祉学分科会のテーマ案について、意見交換を行った。日本学術会議としては、各学会や職能団体がすべきことと分別しながら具体的なテーマを検討すべきについてはないかという意見があった。また、新しい社会問題（課題）にどう対応するかについては分科会などが提言すべきであり、そのためには他の学問分野の先生にも入っていただくことも必要であるなどの意見もあった。今後意見を収集するとともに、学術会議からの方針を受信しながら検討していくこととなる。

今回の委員会（第25期中）は、必要に応じて開催することとなった。

以上